

令和7年度経済学部キャリアガイダンス実施計画書

経済学部におけるキャリアガイダンスの実施方法及び教育・指導内容

経済学部は、本学部の学生が卒業後に自己の資質を向上させ、社会的・職業的な自立を図るために必要な能力を形成することを目的として、以下のような実施方法と教育・指導内容でキャリアガイダンス（社会的・職業的自立に関する指導等）を行う。

1. 実施の方法

- ①本学部のキャリアガイダンスは、下記の表に記載されているように段階ごとの正課教育と正課外教育・指導に区分した教育・指導内容をもって実施する。
- ②キャリアガイダンスの教育・指導は、教育委員会と就職委員会による合同委員会の責任のもとに計画・実施・改善を行う。
- ③正課教育は、主に教務委員会の責任のもとに、経済学部の教育目的に沿って立案・実行される。
- ④正課外教育・指導は、主に就職委員会の責任のもとに経済学部の教育目的にそって立案・実施される。
- ⑤教員は、各自の授業科目に応じてキャリアガイダンスを実施する。
- ⑥就職委員会は、キャリアセンターと協力して、学生の就業意識を向上させるための環境整備に務める

2. 教育・指導内容

	正課教育／正課外教育	講座等スケジュール
初年次	<p>(1) 大学入門科目 I において、リクナビ提供の講義を受講させ、キャリア設計の重要性を学ばせる。</p> <p>(2) 情報リテラシー科目や外国語科目の受講によって、現代の職業生活に必要な知識と技術を学ばせる。</p> <p>(3) 入門ゼミから名称変更した社会課題演習では、授業の中身も刷新している。</p> <p>①経済×経営×法、企業活動、行政の地域振興の3つの課題のもと、特に後ろの2つの課題では、企業や行政から若手職員を派遣してもらい実務の話をしきく。経済、経営、法からなる社会経済の実務を知るために、学外社会人による講義を実施し、現代社会で働くために何が必要かを考えさせる。そのあと、②聞いた内容を口語にして報告し合う機会を作るといった授業に作り直した。これによって、発言に基づくコミュニケーション能力を養成する。</p>	<p>(1) 大学入門科目 I において、5 月頃に、リクナビ提供の講義を受講させる。</p> <p>(2) 情報リテラシー科目や外国語科に加えて、大学入門科目 I と基本統計学において、データサイエンス教育の意義と実践を学習させる。</p> <p>(3) 社会課題演習において、10 企業、10 行政の実務者が話をすることになっている。学生は、5 クラスに編成し直すため、4 つ（企業 2、行政 2）の話を直接聞く機会を得る。また、聞いた内容を口語にして報告し合う機会を作るため、他のクラスで実施された授業の内容を間接的に聞くことができる。</p>
2 年次	<p>(1) 各学科の基礎科目の受講を通じて専門知識を習得させるとともに、フィールド科目群の選択によって、職業能力の育</p>	<p>(1) ～ (3) 2 年次以上では、企業経営者、公認会計士、税理士、弁護士などの方々による科目を用意しており、よ</p>

	<p>成に関わる知識や情報を与える。</p> <p>(2) 演習の2年次通年化によって、レポートや発表による自己表現能力や他者との協力と協調性など、将来社会人として必要なコミュニケーション力を養成する。</p> <p>(3) 「現代の経営」などの実践系科目において地元企業の状況を知る。</p> <p>(4) 楠葉同窓会との交流会に積極的に参加し、将来の職業について考え、社会人とのコミュニケーションを経験させる。</p>	<p>り実践的・専門的な内容を学習できる。</p> <p>(4) 楠葉同窓会と交流会を行う。2024年11月に実施した「同窓会フェス」の継続実施を想定している。</p>
3年次	<p>(1) 演習での少人数教育を通して、社会人としての能力・資質をさらに強化するとともに、専門科目の受講と合わせて、専門的な領域における問題の分析力や論理的思考力を高める。</p> <p>(2) 実践科目の授業を通じて社会人の知識の活用の仕方、考え方を学ぶ。</p> <p>(3) 就職活動の準備を通して、仕事について考え、業界・企業研究等を深く理解させるとともに、インターンシップへの参加を促す。</p> <p>(4) 就職委員が会社訪問により企業情報の収集を行い、ゼミ担当教員を通じて情報提供を行う。</p> <p>(5) 楠葉同窓会との交流会に積極的に参加し、将来の職業について考え、社会人とのコミュニケーションを経験させる。</p>	<p>(1) ～ (4) 就活準備スケジュールをもとに、学部独自に以下の講座等を実施予定である。</p> <p>①4月：スタートアップ講座</p> <p>②4～6月：インターンシップ選考対策を含めた面接対策講座</p> <p>③6～12月：ES対策講座（予算の兼ね合いもあるが、エントリーシートの添削を継続実施したい意向である）</p> <p>④12～2月：本面接対策講座／就活準備総まとめ</p> <p>(5) 楠葉同窓会と交流会を行う。2024年11月に実施した「同窓会フェス」の継続実施を想定している。</p>
4年次	<p>(1) 演習において、卒業レポートや卒業論文などの作成指導を行い、正確な分析と明快な論拠にもとづいて論理的な文章を書く訓練や説得力ある発表のためのプレゼンテーションの訓練を行ない、職業・社会生活に不可欠のリテラシーを身につけさせる。</p> <p>(2) 就職委員が会社訪問などにより求人情報の収集を行い、ゼミ担当教員を通じて情報提供を行う。必要に応じて、就職委員が直接指導を行う。</p> <p>(3) 卒業予定学生に向けた経済学部重点科目確認試験によって、4年間の振り返りを行う。</p>	<p>(1) (2) 就職活動に対する支援</p> <p>(1) (3) 卒業予定学生に向けた経済学部重点科目確認試験の本試験を10月に実施、追試を11月に実施、これ以降、不合格者に対して追々試を順次実施の予定である。</p>